

# 相場予測の優位性

- 1 .建玉への確信
- 2 .トレンドの確認
- 3 .時間的・心理的優位性の確保

# なぜ相場予測をしてはならないか

- 1 . 予測精度を上げることは至難の業
- 2 . 統計的・数学的優位性が実証出来ない
- 3 . 予測に拘泥して建玉を間違う

# 実践を伴う短期トレーダーにとって 予測とは

- 1 . 建玉操作の邪魔になるならば不要
- 2 . 予測に時間を取られるよりは経験を積むべし

- 3 . 但し、予測理論を理解することは時に優位性を発揮することがある
- 4 . 批判的に予測を受け止める力を身につけることで優位性を持つことが出来る

# シンセティックスとは

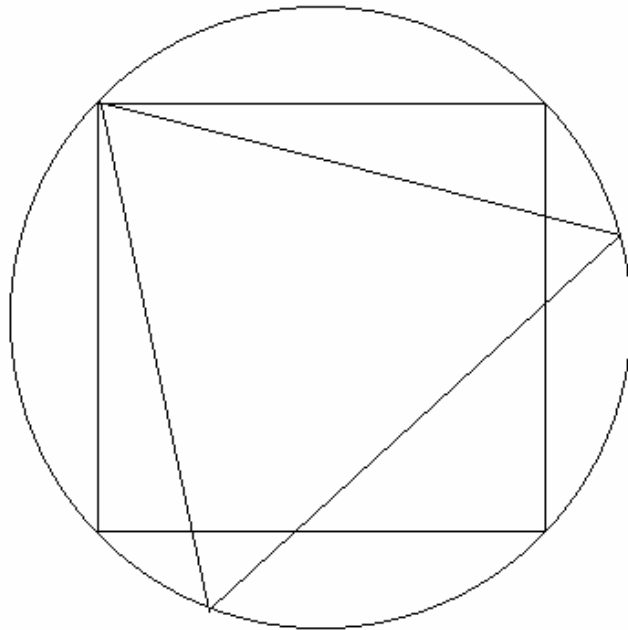
**ギャン理論に基づく相場予測法を短期トレードにもある程度使えるように改良した独自の手法である**

**タイムサイクル・アンバーサリー・シーズナルサイクル・バイアスなどの非効率性（アノマリー）を、ポイントという概念を利用して視覚化したもの**

**タイムサイクルやギャン理論、短期フォーメーションなどの検証作業が不可欠である**

**シンセティックスだけでは完全ではない**

# シンセティックとギャン理論



**1 年は重要なタイムサイクルあるいは時間帯である**

**2 分割・3 分割・4 分割された時間帯も重要である**

**起点は春分の日、あるいは年頭である**

## シンセティックスの原則

起点は相場参加者が一番意識する年頭とする。旧正月・春分の日  
は起点としない。

1年の2 / 4分割は使用せず、  
3分割のみ利用する。月のサイクル  
は無視する。



## なぜ3分割か

120日はおおよそ17週であり、多くの市場におけるプライマリーサイクルあるいはハーフプライマリーサイクルの長さに一致する 重要なサイクル  
ボトム・トップと一致しやすい

## では4分割は

ほぼ1/3週に一致。最も長いPCの  
1/3に一致、結果としてMCとな  
るケースがあるが、通常のPCから  
は満足できる結果が得にくい

## 短期シンセティックスの作成方法

- 1 . 1 年を 3 分割する。
- 2 . リバーサルゾーンは重要な安値  
または高値と一致しなくてはな  
らない。

**3.基本的に1, 5, 9月をリバーサルゾーンとし、17週ごとにほぼおなじタイミングで天底を打つと見なす。**

**4.月末・月初に特に注目しポイントを特定する。**

**5. ポイントは少ない方が予測上ベターであるが、通常 1 2 ポイント以上となる。**

**6. 出来たら 1 4 ポイント以上にしない方がよい。**

**7.ポイント予測は月末月初をエッジとし、そこからの乖離で判断する。営業日を使い、アニバーサリーで補完する。**

**8.月初近くは月初めから、月末近くは月末からカウントする。±で乖離を出す。**

**9.ポイントのリバーサルゾーンでのみ  
逆転を起こすことがある。**

**10.逆転を起こすポイントは原則  
のみである。**

**11.逆転したポイントは次のリバーサルゾーンまで逆転を続ける。すなわち、高値のポイントは安値に、安値のポイントは高値になる。**

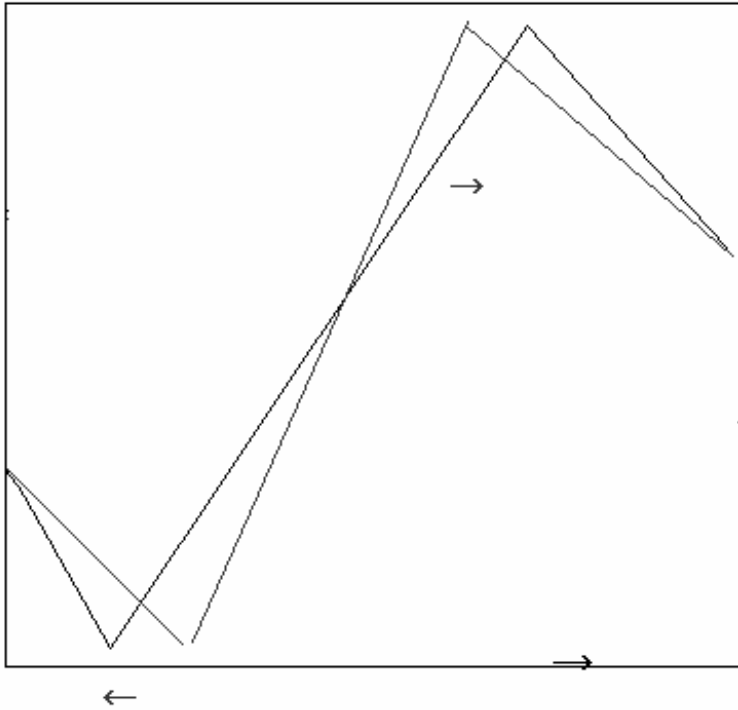
**12.ポイントは建玉の他にトレンド判定にも使用する。**



**13.強気相場では安値のポイントの直前で買うのを原則とする。**

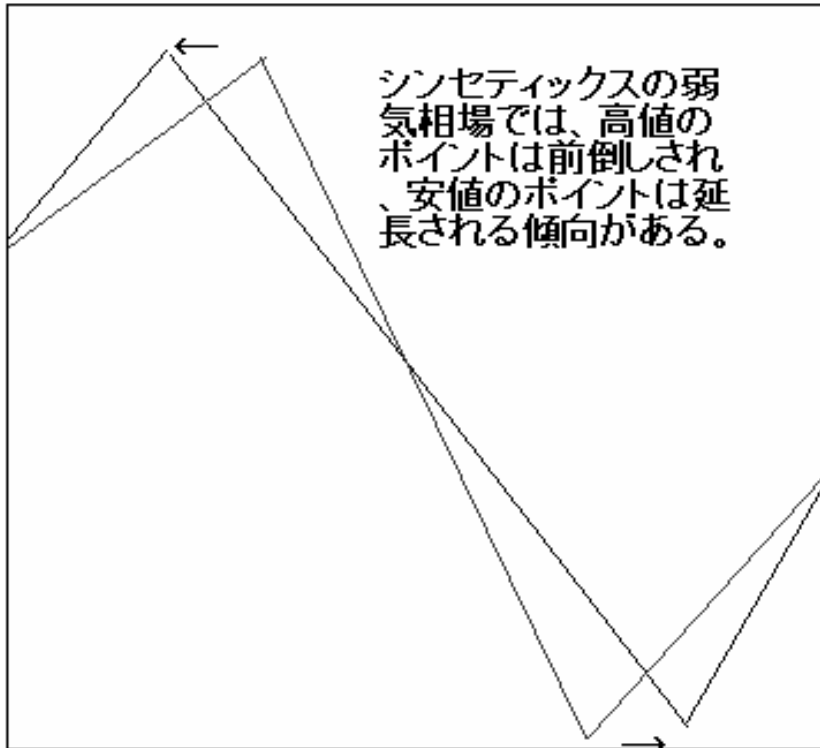
**14.弱気相場では高値のポイントの直前で売るのを原則とする。**

**15. 強気相場では上昇波動が延長する  
結果、シンセティックスのポイント  
トは高値が延長され、安値は短縮さ  
れる傾向にある。**



**典型的なケースとしては、安値のポイントが一日前倒しされ、高値が1 - 2日延長されるケースである。**

**16.弱気相場では下落波動が延長される  
結果、ポイントは高値が前倒しされ、  
安値が延長される傾向がある。**



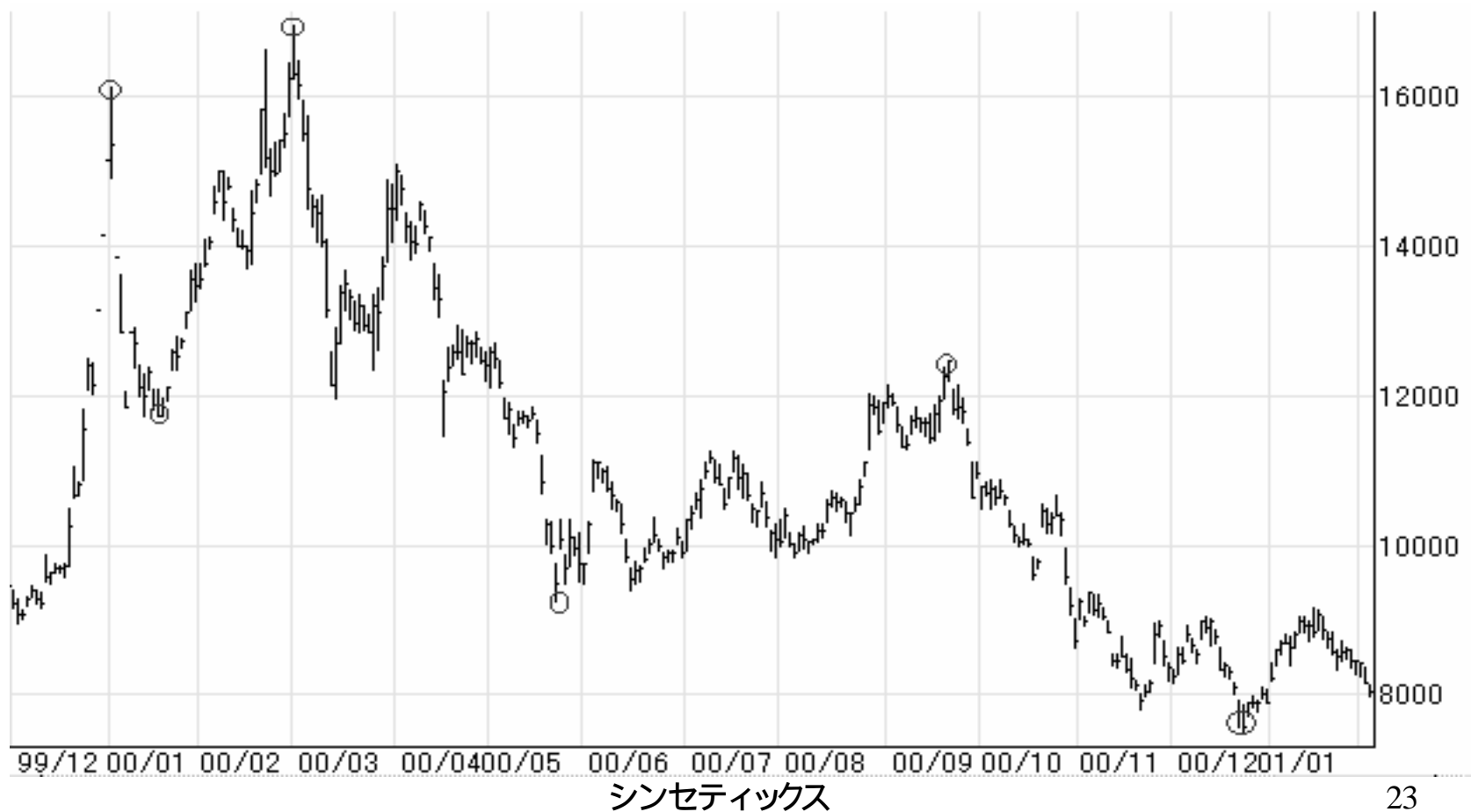
**典型的なのは、  
高値が一日前にな  
り、安値が1  
- 2日後ろにず  
れるケースであ  
る。**

**17. シンセティックス上のトレンド転換の兆候はダウントレンドにおいては高値のポイントの延長であり、安値のポイント短縮である。**

**18. 上昇トレンドにおいては安値のポイント到達の延長であり、高値のポイント短縮である。**

# シンセティックスの作成法 ソニー

重要な安値・高値をマーキングする。



# シンセティックスの作成法

1 - 5 - 9月を反転ゾーンとしてくくる



シンセティックス



# シンセティックスの作成法

重要な安値をポイント として特定。



# シンセティックスの作成法

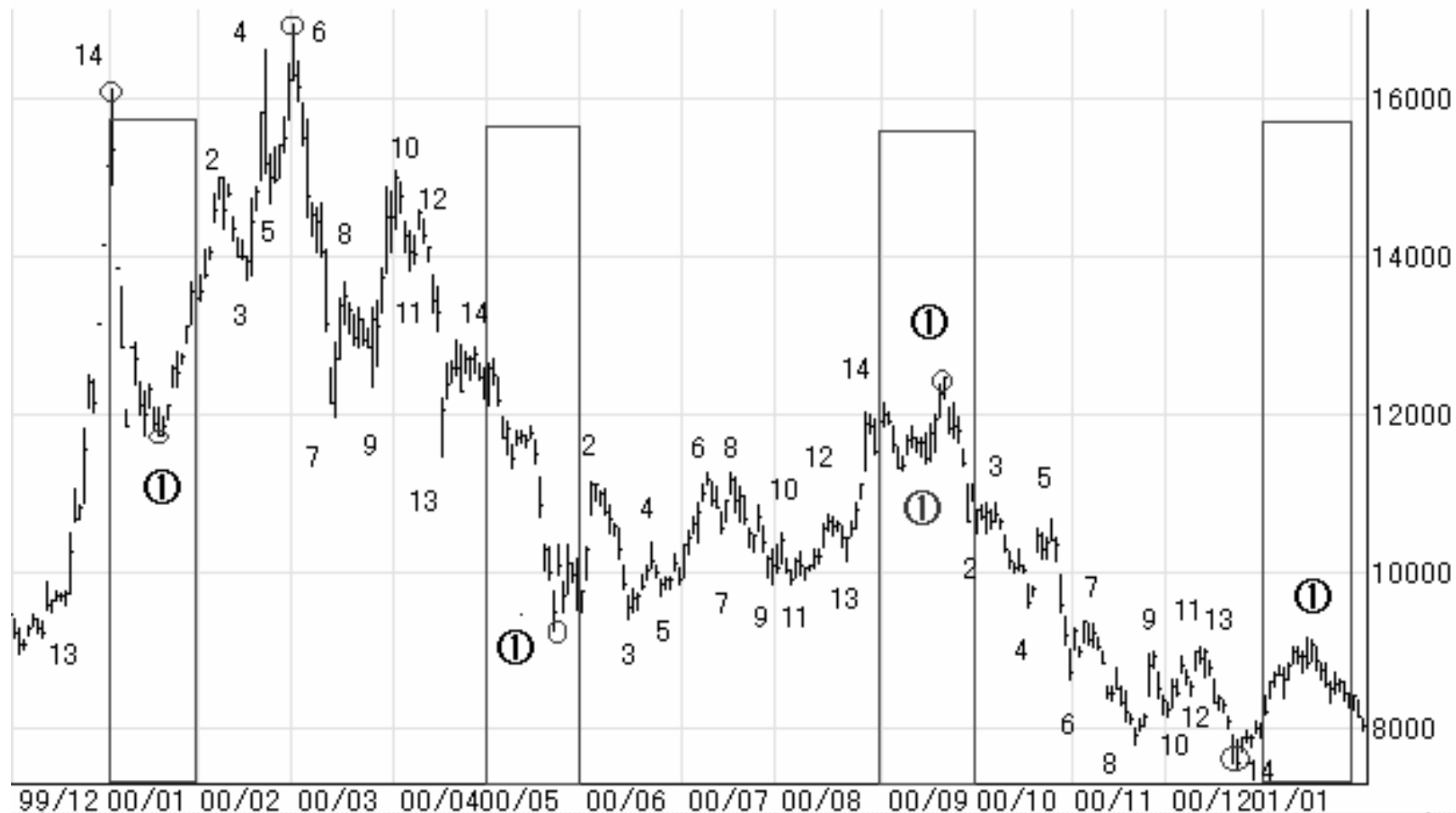
12-14ポイントを目処にナンバリング。



# シンセティックスの作成法 の反転箇所を特定しておく。



# 完成図



シンセティックス



シンセティックス

## 中期シンセティックス

**1 年は最も重要なタイムサイクル。**

**相場は一年後のおなじ日前後が重要な  
変化を起こすことがある アニバーサ  
リーデイトの概念を利用**

## 中期シンセティックスの作成法

1. 週足を利用し、52週が重要なサイクルであることを確認する。
2. 基本的に1 - 3月を主要なリバーサルゾーンとして特定する。

**3.毎年1 - 3月あるいはその非常に近いゾーンで相場が反転していることを確認する（そうでない場合はリバーサルゾーンを変える）。**



4. 1年を完結するサイクルとし、ポイントを特定していく。
5. ポイントは12ポイント程度で、多くとも14ポイント程度にとどめた方がよい。